



2025年9月26日

各位

会社名 クオンタムソリューションズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 Francis Bing Rong Zhou  
(コード番号 2338 東証スタンダード)  
問合せ先 管理部 Catherine Hu  
TEL 03-4579-4059 (代表)

## 連結子会社における暗号資産投資事業の運用対象資産へのETH追加に関するお知らせ

当社は、2025年7月23日付開示資料「連結子会社における新たな事業（暗号資産投資事業）の開始に関するお知らせ」において、暗号資産の運用対象をビットコイン（BTC）のみとしておりましたが、今回、当社連結子会社である香港法人GPT Pals Studio Limited（以下「GPT社」といいます。）を通じた暗号資産投資事業の運用対象資産にイーサリアム（Ethereum、以下「ETH」といいます。）を追加することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 暗号資産投資事業における運用対象資産の概要

項目	暗号資産
従来の運用対象	ビットコイン
今回の追加対象	イーサリアム（ETH）

### 2. 追加した理由

イーサリアム（ETH）はスマートコントラクトおよび分散型アプリケーションの基盤として世界的に広く利用されており、長期的な価値保存および成長性の観点から有望であると当社は判断しております。さらに、イーサリアムは単なる「価値保存手段」にとどまらず、分散型アプリケーション（dApps）、スマートコントラクト（※条件を満たすと自動的に実行されるブロックチェーン上の契約プログラム）、ステーキング（保有する暗号資産をネットワークに預け入れ、報酬を得る仕組み）など多様な機能を有しており、市場において追加的な収益や利用価値を創出することが可能です。

ビットコインとは異なる性質を持つイーサリアム（ETH）を導入することにより、暗号資産ポートフォリオ全体の価格変動リスクを低減し、中長期的な資産保全をより効果的に図ることができると考えております。

### 3. イーサリアム（ETH）投資の概要

#### (1) 運用方針

- ・長期保有＋安定的な価値増大  
長期的な価値保全を目的として、リスク管理の範囲内で段階的にETHを取得(\*)
- ・収益化戦略  
安全性とコンプライアンスを確保したうえで、Staking、流動性管理、規制適合型DeFi商品の適度な活用により収益を追求いたします。
- ・エコシステム連携および応用探索  
イーサリアム（ETH）のエコシステムにおけるインフラや商用アプリケーション（スマートコントラクト、分散型アプリケーション、IP・ゲーム分野など）に積極的に参画し、将来の事業拡大および投資機会を模索いたします。

(\*)当社は、2025年8月4日付開示資料「連結子会社における資金の借入の 実行に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、Integrated Asset Management (Asia) Limited との間で締結した金銭消費貸借契約を実行して2025年8月1日にGPT社の取引金融機関の口座にIntegrated Asset Management (Asia) Limitedからの1,000万米ドルが入金されていることを確認し、1,000万米ドルの資金を調達しておりました。また、2025年8月27日付開示資料「連結子会社によるビットコイン (BTC) の追加取得に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、GPT社が最新の開示データに基づき合計19.529BTCを保有し、BTCの総取引額は2,235千米ドル(1米ドル147.6円の為替レートで換算した場合約3.30億円)に達しております。したがって、暗号資産を取得していくなかでGPT社における取得資金余力は7,765千米ドルとなっております。

## (2) 戦略的意義

- ・インフレ耐性：総供給量はバーンと新規発行のバランスによって変動するため、長期的には一定の範囲内で推移すると考えられ、価値保存手段として期待できます。
- ・高い流動性：主要取引所で広く取引されており、十分な流動性を有しております。
- ・技術的優位性：スマートコントラクトを用いた自動取引や条件付き契約の実行が可能なブロックチェーン基盤を提供しています。
- ・グローバルスタンダード化：国際的に認知される主要暗号資産として、ETFや投資信託など制度整備が進展しており、世界的金融資産としての地位が強化されています。

## (3) 運用体制およびガバナンス

- ・専用口座(\*)の設置および厳格な社内管理体制の構築
- ・会計上の定期的な時価評価の実施
- ・内部統制委員会によるリスク評価および運用監査を今後制定し、リスク管理の厳格な実施
- ・重要な売買については適時に開示を実施

\*当社の連結子会社であるGPT社名義で HashBlockchain Limited (商号: Hashkey) にて開設した口座です。なお、Hash Blockchain Limited は、香港において暗号資産交換業のライセンス (ライセンス番号: BPL992) を保有する正式な事業者であり、「Haskey Exchange」という商号で運営されています。

## 4. 今後の見通し

今後、GPT社の暗号資産投資事業においてイーサリアム(ETH)を中核とする戦略を採用し、イーサリアム(ETH)を財務資産の主要な構成要素として取得・保有し、市場環境に応じて段階的に蓄積を進める方針です。

当社では、2025年4月14日付開示資料「2025年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」でもお知らせしたとおり、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、株主・投資家の方々への誤解を招かないため、現時点では2026年2月期の連結業績予想を非開示としておりますが、2026年2月期連結業績予想に暗号資産投資事業による暗号資産の取得は織り込んでおりません。

また、暗号資産の保有残高については四半期ごとに時価評価を行い、その評価損益を損益計算書に計上致しますが、連結子会社による暗号資産の取得が当社グループの2026年2月期連結業績に与える影響がどの程度であるのかの見通しが判明した場合は、速やかに開示を行います。

以 上